

市立甲府病院 地域医療連携だより

基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



● 診療科の紹介

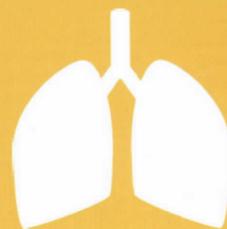
呼吸器内科、総合内科・・・p2 糖尿病・内分泌内科、腎臓・膠原病内科・・・p5
循環器内科・・・・・・・・・・p3 リハビリテーション科、放射線診断科・・・p6
消化器内科、神経内科・・・p4 小児科・・・・・・・・・・・・・p7

● 外来診療担当医表 p8

市立甲府病院
地域医療支援室地域医療連携係

〒400-0832 山梨県甲府市増坪町 366 番地
TEL 055-244-1111 (内線) 2211
FAX 055-220-2660

呼吸器内科



大木 善之助 大越 広貴
菱山 千祐 佐藤 宰
樋田 和弘 小澤 克良

当科は日本呼吸器学会指導医が3名在籍する県内で唯一の呼吸器内科です。2002年に日本呼吸器学会認定施設となり、2016年には睡眠時無呼吸センターおよび呼吸器腫瘍センターを設立、2019年には同学会の呼吸器専門研修プログラム基幹施設に県内で山梨大学とともに認定されました。



呼吸器疾患地域医療に邁進していることはもちろん、山梨胸部疾患研究会をはじめとする呼吸器関連の研究会を数多く主催した学会発表も精力的に行い山梨県の呼吸器診療の向上や若手呼吸器内科医師の育成に全力で取り組んでいます。

年間の新規患者数は右記表のごとくです。

2020年2月からは新型コロナウイルス感染症対策にも全力で取り組んでおり、その診断および治療はもちろん院内感染防止対策の徹底やワクチン接種などにも積極的に参加し病院の中核を成しています。

主要疾患の新規患者数/年

| | |
|-----------------|------|
| 1.肺癌 | 120名 |
| 2.睡眠時無呼吸症候群 | 150名 |
| 3.気管支喘息・COPD | 150名 |
| 4.呼吸器感染症(肺炎など) | 300名 |
| 5.間質性肺疾患 | 150名 |
| 6.新型コロナウイルス(入院) | 121名 |

総合内科

岩崎 康一

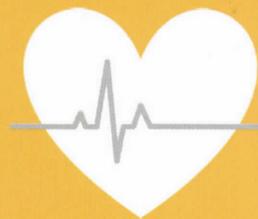
総合内科では・・・

内科全体の初診外来を担当し、よりの確な診断を目指し、必要に応じ臓器別専門科とも連携し効率的な医療を心がけています。

社会の高齢化が進み複数の健康問題をかかえる方が増えており、そのような患者さんを総合的に診療し包括的なバランスの良い医療を提供することを目指しています。



循環器内科



沢登 貴雄
齊藤 幸生
瀧島 勲
鈴木 浩二
猪股 大智

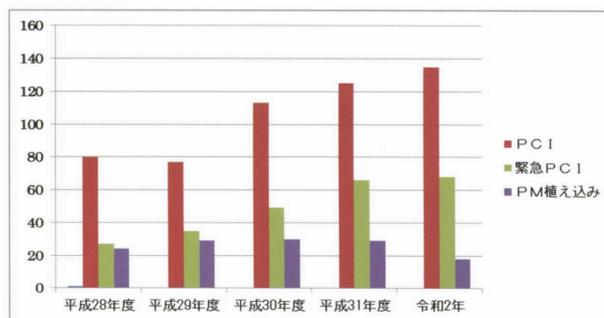
市立甲府病院の循環器内科では5名の常勤医師により診療を行っています。虚血性心疾患、不整脈、心不全、心筋症、動脈硬化疾患、静脈血栓症などが対象疾患となります。

外来では心エコー図検査、トレッドミル運動負荷試験など非侵襲的な検査に加えて、冠動脈CTに積極的に取り組んでいます。令和2年度の入院では虚血性心疾患が42%と最も多くなりました。



特に急性心筋梗塞の入院は年々増加しており、令和2年度には60名を受け入れました。虚血性心疾患に対するカテーテルインターベンション（PCI）は令和2年度では135例であり、急性心筋梗塞、不安定狭心症に対して行った緊急PCIは68例でした。虚血性心疾患について急性心不全の入院が多く、28%でした。不整脈治療は8%でした。

当科の診療では病歴聴取と診察を重視して、必要な検査を患者さんとともに進めていきます。入院においては医師、看護師が協力しチームワークの下にグループ治療を行います。胸痛を訴える不安定狭心症や急性心筋梗塞、急な動悸発作を来した不整脈、息切れ、呼吸困難を呈している心不全などの患者様を速やかに受け入れ、治療ができるように心がけ、断らない医療を目指しています。



消化器内科



雨宮 史武 依田 宏貴
門倉 信 竹中 優美
田中 佳祐 森 優喜
安村 智生

消化器内科では2019年から早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を、2020年からは早期大腸癌に対するESDを開始しました(食道に対してはまだ行っておりません)。現在は週に1件のペースで、田中佳祐医師を中心に山梨大学消化器内科医師の応援を受けながら内視鏡室で行っています。2020年には胃のESDを20件、大腸のESDを4件行いました。いずれの症例も内視鏡的には完全切除され、重大な偶発症も認めませんでした。

また一部術後の病理結果から追加外科切除が適応と判断された症例もありますが、外科に紹介し追加切除を行っていただきました(外科との連携は非常に良好です)。もしESD適応症例、もしくはESD可能かどうか判断に迷うような症例がいた場合はご紹介ください。



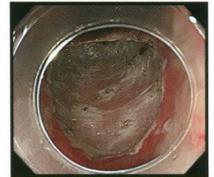
治療適応と判断されてからは1～2ヶ月以内にはESDできることが多いです(混み合っている場合はそれ以上お待ちいただく場合もあります)。

また、当科では胆膵癌に対する化学療法も門倉信医師を中心に非常に高いレベルで行っております。

ESD 前



ESD 直後



ESD 1ヶ月後



ESD 半年後



神経内科



富樫 慎治
渡邊 翼

当院神経内科は、2人の医師で長くやっています。病院の開いている日は外来をしており、「今日具合が悪いからいつもの先生に診て欲しい」という対応ができます。また、急患対応や、他院で困難な病気の紹介も引き受けています。脳梗塞のほか、頭痛、物忘れ、てんかん、ギランバレー、パーキンソン病、脳脊髄炎、ALS、筋ジストロフィー、筋炎が専門です。



なお、他院で検査、治療中の病気の診察や、意見を聞きたいときは、検査結果や治療状況の紹介をご持参ください。お話をうかがうだけでは診断ができません。前の検査結果が大事だったり、一部の検査結果だけでは正しい判断ができないからです。不眠症や、うつ病、不安症など心の病気は対象外です。

糖尿病・内分泌内科

新藤 英夫
苅部 豊彦
中村 傑

糖尿病患者さんの診療においては生活指導が最も重要な点です。外来での個別栄養指導を管理栄養士が個々の患者さんの状態に応じて必要なだけ行います。フットケア・透析予防のための指導なども行っています。また6日間の指導入院ではクリティカル・パスを用い、治療の動機づけを行って、治療に必要な知識、技術を習得してもらい、長期的に治療が良好に進むよう指導しています。



強化インスリン療法を導入した場合にはフラッシュグルコースモニタリング（FGM: Flash Glucose Monitoring）を用いて血糖トレンドを把握することによって食後高血糖や夜間低血糖を知ることができます。



腎臓・膠原病内科

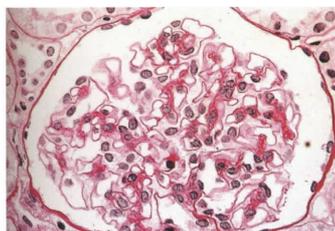
緒方 亮二
秋山 大一郎

腎臓・膠原病内科では緒方亮二及び秋山大一郎の2名で診療をおこなっております。

血尿・蛋白尿で御紹介いただいた患者さんには、腎生検を行いその組織によって最も適切な治療方針を決定しております。腎生検で診断される疾患で最も多いIgA腎症に対しては、根治的な治療効果が期待できる扁桃パルス療法を積極的に施行しております。

末期腎不全の原因として最も多い糖尿病性腎症に対しては、血糖管理や血圧、合併症など複合的な管理が必要になります。インスリン治療が必要な場合では糖尿病専門医に血糖管理を依頼しております。また眼科や循環器内科と連携して合併症の管理を行っております。

保存期腎不全の患者さんには、腎不全症状を管理しながらVA造設など血液透析導入の準備をすすめて参ります。腹膜透析を希望される場合は山梨大学に紹介させていただいております。



関節リウマチが疑われる患者さんを紹介いただいた場合は、他の関節痛を来す疾患を除外鑑別しながら治療を進めて参ります。またANCA関連疾患やSLEなど腎疾患を併発しやすい疾患に対してステロイド治療の他に血液透析・アフェレーシス治療など必要に応じて施行することが可能です。



リハビリテーション科



山口 知之

当科の特色のひとつに「がんリハビリテーション」があります。当院の患者さんは県内の基幹病院に比べ平均年齢が10歳くらい高いそうです。がん治療を受けておられる患者さんにも高齢の方がおられ、内科合併症に配慮が必要です。視点をかえますと整形外科の脊椎関節疾患や加齢に伴う運動機能低下といった問題をかかえています。高齢がん患者さんの運動機能低下は介護という側面から、がん治療の選択や治療後の退院先に影響をあたえます。



近年、がんの運動器マネジメントの重要性が増しております。手術・化学療法・放射線治療のために入院中の高齢がん患者さんをささえる一員として、リハビリテーションの依頼を各科から受けております。クリニックの先生方からご紹介いただきましたがん患者さんには、高齢であっても運動機能を落とさずに治療を終えられ、安心して再び住み慣れた地域へもどれますように「がんリハビリテーション」治療をおこなっております。

放射線診断科



塚本 達明
安徳 諭

放射線診断科では、院内で撮影されたすべてのCT、MRIの画像診断を行っています。腹部を主体とした血管造影検査および血管を介した治療（IVR）も山梨大学放射線医学教室の協力を得て行っています。これらの検査が適切に、かつ最小限の被曝で行われるよう、診療放射線技師と協力して撮像条件を決定しています。また、患者さまには不安なく検査を受けていただくことができるよう、看護師、事務員を含めたチーム医療を実践しています。造影剤を使用する場合には、安全に検査を受けていただくために、問診の上、検査同意書をいただいております。



開業の先生方にも手軽に検査を利用していただけられる体制をとっており、ご希望の日時に検査を施行し、報告書とともに画像結果をお持ち帰りいただいております。急性腹症、頭蓋内出血などの急性期疾患については、当日の緊急検査にも対応させていただいております（ただしCT検査に限ります）。

令和3年4月より、新規に導入されたCT装置が稼動しております。低線量（低被曝）で、より鮮明な画像が得られるようになりました。

小児科



伯耆原 祥 青山 香喜
古本 雅宏 中西 太
小田切 祐一

外来、一般病棟、NICUがあります。小児科救急当番日が4日に1回あります。

コロナ禍になりみんなで感染予防を徹底している影響で他の感染症が減少し、外来患者さんが減りました。そのため一般病床への入院患者さんも感染症を中心に減っています。そのため検査入院（睡眠時無呼吸症候群、食物アレルギー、低身長などの内分泌疾患）の割合は増加しています。小児の睡眠時無呼吸は、扁桃肥大やアデノイド肥大に合併して生じることが多く、肥満に合併する成人との違いになっています。

まずは、簡易検査（鼻カヌラによる気流測定とSpO2、脈拍数測定）を自宅で実施します。その後、入院して1泊2日のPSG（ポリソムノグラフィー、脳波、眼球運動、鼻カヌラ気流、温度センサーによる鼻と口の気流、口の動き、いびき、心電図、胸郭の呼吸運動、腹部の呼吸運動の測定）を実施しています。PSGで中等度以上の閉塞性無呼吸があった場合には耳鼻科にて扁桃やアデノイド肥大の摘出手術をしています。



食物アレルギーは、正しい診断の元に最小限の食物制限を実施することを目標にしています。負荷試験では入院して疑われる食品を少量から徐々に増量して食べていきます。皮疹、呼吸状態、消化器症状、血圧など観察し問題なければ制限を解除しています。完全解除できなくても、少量は摂取可能と判断できることもあり好評です。

次回は外科系を
ご紹介します!!



市立甲府病院 外来診療担当医表

◎予約外（新患）の患者さんについては、★印の医師が担当しますのでご確認をお願いします。

令和3年8月1日 現在

| 診療科（担当部門） | | 午前 午後 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------------|-------------------|------------------------|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 内科 (午後は予約患者のみ) | 総合内科 | 午前 | ★岩崎 康一 | ★岩崎 康一 | ★岩崎 康一 | ★岩崎 康一 | ★前田 宜包 岩崎 康一 |
| | | 午後 | | | | | |
| | 呼吸器内科 | 午前 | ★小澤 克良 大木 善之助 | ★大木 善之助 菱山 千祐 | ★小澤 克良 大木 善之助 樋田 和弘 | ★井上 修 | ★菱山 千祐 大木 善之助 樋田 和弘 |
| | | 午後 | 大木 善之助 菱山 千祐 樋田 和弘 | 小澤 克良 大木 善之助 | 小澤 克良 大木 善之助 樋田 和弘 大越 広貴 | 大木 善之助 菱山 千祐 大越 広貴 佐藤 幸 | 大木 善之助 菱山 千祐 |
| | 循環器内科 | 午前 | ★齊藤 幸生 | ★瀧島 勲 猪股 大智 | ★沢登 貴雄 | ★鈴木 浩二 沢登 貴雄 | ★猪股 大智 沢登 貴雄 |
| | | 午後 | 鈴木 浩二 | | | 沢登 貴雄 齊藤 幸生 | 瀧島 勲 |
| | 腎臓・膠原病 内科 | 午前 | ★秋山 大一郎 | ★緒方 亮二 | | ★緒方 亮二 | |
| | | 午後 | 秋山 大一郎 | | 秋山 大一郎 | | |
| | 糖尿病・内分泌 内科 | 午前 | 新藤 英夫 ★苅部 豊彦 | | ★新藤 英夫 | ★中村 傑 | ★苅部 豊彦 |
| | | 午後 | 新藤 英夫 苅部 豊彦 | 中村 傑 | 苅部 豊彦 中村 傑 | | 新藤 英夫 苅部 豊彦 |
| | 消化器内科 | 午前 | ★雨宮 史武 森 優喜 高橋 英 | ★門倉 信 山口 達也 高岡 慎弥 | ★雨宮 史武 依田 宏貴 田中 佳祐 | ★門倉 信 雨宮 史武 安村 智生 | ★田中 佳祐 竹中 優美 |
| | | 午後 | 安村 智生 | 雨宮 史武 竹中 優美 | 森 優喜 | 門倉 信 | 依田 宏貴 |
| 精神科 | | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 | |
| 神経内科 | 午前 | 富樫 慎治 渡邊 翼 | 富樫 慎治 羽田 貴礼 渡邊 翼 | 富樫 慎治 中村 由紀 | 富樫 慎治 渡邊 翼 | 富樫 慎治 名取 高広 渡邊 翼 | |
| 小児科 | 午前 | 青山 香喜 古本 雅宏 中西 太 | 青山 香喜 伯耆原 祥 小田切 祐一 | 青山 香喜 伯耆原 祥 古本 雅宏 | 青山 香喜 古本 雅宏 中西 太 | 伯耆原 祥 小田切 祐一 沢登 恵美 | |
| 外科 | 消化器外科 | 午前 | ★千須和 寿直 | ★若菜 弘幸 | ★飯野 弥 千須和 寿直 ◇角田 元 | ★角田 元 若菜 弘幸 | 飯野 弥 ★福島 久貴 |
| | 呼吸器外科 | 午前 | | 松岡 弘泰 | | 松岡 弘泰 | |
| | 乳腺外科 | 午前 午後 | 丸山 孝教 | 丸山 孝教 | 丸山 孝教 | | 中山 裕子 |
| | 大腸肛門外科 | 午前 | | | ★飯野 弥 | | 飯野 弥 |
| 整形外科 | 午前 | | 堀内 忠一 川崎 晋睦 穴山 聡 | 前川 慎吾 中村 祐敬 藤巻 圭太 ◇川崎 晋睦 | 堀内 忠一 ◇中村 祐敬 | 川崎 晋睦 中村 祐敬 ◇前川 慎吾 | 前川 慎吾 穴山 聡 藤巻 圭太 |
| | | 予約外の方 (初診も含む) | 紹介状が必要 人数制限あり | 紹介状が必要 人数制限あり | 紹介状が必要 人数制限あり | 紹介状が必要 人数制限あり | 紹介状が必要 人数制限あり |
| | 午後 (予約患者のみ) | ◇堀内 忠一 | ◇前川 慎吾 ◇川崎 晋睦 ◇藤巻 圭太 | ◇堀内 忠一 | | ◇前川 慎吾 ◇藤巻 圭太 | |
| 形成外科 | 午前 | 池上 みのり | 池上 みのり | 池上 みのり | | 池上 みのり | |
| 脳神経外科 | 午前 | ◇西山 義久 | 西山 義久 | 村瀬 遼太 | 西山 義久 | 村瀬 遼太 | |
| 皮膚科 | 午前 | 市川 健 | 市川 健 | 市川 健 | 市川 健 | 市川 健 | |
| 泌尿器科 | 午前 | 小室 三津夫 ★交代制 | 田邊 信明 ★小室 三津夫 | 犬塚 秀康 ★平岡 正義 | 田邊 信明 ★交代制 | 小室 三津夫 ★犬塚 秀康 | |
| 産婦人科 | 婦人科 | 午前 | 平井 光男 | 平田 希 | 小川 恵吾 高木 司 | 高木 司 | 休診 |
| | 産科5 | 午前 | 小川 恵吾 | 平井 光男 | 高木 司 | 平井 光男 | 平田 希 |
| | 産科6 | 午前 | | | | | |
| | 産科7 | 午前 | 平田 希 | 高木 司 | 平田 希 | 小川 恵吾 | 交代制 |
| 眼科 | 午前 | 間渕 文彦 | 間渕 文彦 | 間渕 文彦 | 間渕 文彦 | 間渕 文彦 | |
| | 午後 | | ◇間渕 文彦 | ◇飯島 裕幸 | ◇間渕 文彦 | ◇間渕 文彦 | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | ★山本 卓典 ◇堀内 辰也 | ★黄 淳一 ◇山本 卓典 | ★堀内 辰也 ◇黄 淳一 | 交代制 | ★黄 淳一 ◇山本 卓典 | |
| 放射線診断科 | 画像診断 | 午前 | 塚本 達明 安徳 論 岡田 大樹 | 塚本 達明 安徳 論 | 塚本 達明 安徳 論 | 安徳 論 鈴木 達也 | 塚本 達明 安徳 論 |
| | | 午後 | 塚本 達明 安徳 論 荒木 拓次 | 塚本 達明 安徳 論 藤原 弘大 | 塚本 達明 安徳 論 | 安徳 論 光田 浩二 梅田 貴子 | 塚本 達明 安徳 論 渡邊 千嘉 |
| 放射線治療科 | 治療 | 午前 | ◇山田 貴志 | | ◇青木 真一 | | ◇松田 正樹 |
| 麻酔科 | | 午前 | 非常勤医師 | 非常勤医師 | 非常勤医師 | 非常勤医師 | 非常勤医師 |
| 歯科口腔外科 | (◇金曜日は予約患者のみ午前診療) | 午前～午後 | 新中 康史 中里 桂一郎 | 新中 康史 中里 桂一郎 | 新中 康史 中里 桂一郎 | 新中 康史 中里 桂一郎 | ◇藤井 英治 ◇新中 康史 ◇中里 桂一郎 |
| 緩和ケア内科 | | 午前～午後 | | | | | ◇小林 薫 |

注) 完全予約制です。(予約については、事前に電話でお問い合わせ下さい。)

【注意】 外来受付時間は午前8：30～11：00 午後の診療は”予約患者様のみ”となっています。
ご紹介頂いた医師が診察できない場合は、他の医師が診察する場合がありますが、予めご了承ください。
◇：予約患者のみ